

ブドウ新品種'出雲クイーン'

高橋国昭、山本孝司、今岡昭、安田雄治、宮川煦

摘要

1. '出雲クイーン'は、1973 年に旧浜田分場において'ブロンクス-シードレス'に'マスカット-ベリーA'を交配して得られた交雑実生で、1994 年 11 月 22 日に登録番号 4123 号として登録された。
2. 樹勢は中位で、結実が良く豊産性である。病虫害抵抗性は中位で'マスカット-ベリーA'よりやや弱い。
3. 果房は円錐形または円筒形で、粒着は中位である。果粒は短楕円形で7~8gである。果皮色は赤色で外観は優れている。果皮と果肉の分離は容易で果肉は中間である。甘味は強いが酸が少なく、香りはワインの風味に似た独特の香りがあり、渋味はない。食味は'マスカット-ベリーA'より優れている。果皮は厚い方であるが裂果性が多少みられるので、ハウス栽培が適している。
4. 成熟期は育成地における雨よけ栽培で、有核果栽培が8月下旬、ジベレリン処理による無核果栽培は8月中旬である。